

【本件配付先】

平成 26 年 7 月 4 日(金) 15:00
福島県政記者クラブ、
文部科学記者会、科学記者会、
原子力規制庁記者会(仮称)



平成 26 年 7 月 4 日

独立行政法人日本原子力研究開発機構

アジアからの原子力研修生による「福島県における放射線サーベイ実習」 の実施について(取材案内)

独立行政法人日本原子力研究開発機構(理事長:松浦祥次郎)は、文部科学省からの受託事業「放射線利用技術等国際交流(講師育成)」において、近隣アジア諸国を中心とする国々の原子力関係者を招へいし、「講師育成研修」を実施しております。

今回、上記研修の一環として、福島県檜葉町において、町のご協力の下に、「放射線サーベイ実習」を実施いたします。この実習では、空間線量率の測定、環境モニタリング用試料(土、草、水、空気)のサンプリング等を行います。この実習を通して、環境放射能を測定する技術を習得してもらうとともに、避難指示解除準備区域である檜葉町の現状、来春以降の町民帰還に向けた取組み等について理解を深める場としても活用していきます。

つきましては、下記のとおり本実習についての取材のご案内を致しますので、よろしく願います。

記

1. 実施日 平成 26 年 7 月 10 日(木) 午前 10 時 30 分～12 時 00 分
2. 実習場所 福島県檜葉町内 農地(地図参照)
〒979-0604 福島県双葉郡檜葉町北田
3. 臨時駐車場 檜葉町立あおぞらこども園 東側 駐車場(地図参照)
〒979-0604 福島県双葉郡檜葉町北田中満296-1
4. 取材申込等
 - (1) 取材希望の方は、別紙申込書を 7 月 8 日(火)16 時まで FAX 願います。
 - (2) 当日は、午前 10 時 00 分までに指定の臨時駐車場へ集合願います。
 - (3) 身分証明書(又は名刺)と各社の腕章をご持参願います。
 - (4) 現地での写真撮影等は、担当者の指示に従って下さい。

以上

<本件に関する問合せ先>

【研修内容について】

独立行政法人日本原子力研究開発機構

原子力人材育成センター国際原子力人材育成課

担当 中村、藪内(7月7～10日) TEL: 029-282-6748 FAX: 029-282-6543

澤田(7月4日) TEL: 029-284-3844 FAX: 029-282-6543

【取材等について】

独立行政法人日本原子力研究開発機構

福島研究開発部門福島事業管理部総務課

担当 眞鍋、吉田 TEL: 024-524-1060 FAX: 024-524-1069

【背景】

本事業は、①講師育成研修(ITC)、②フォローアップ研修(FTC)、③原子力技術セミナーの3つの研修コースから成り、1996年にインドネシアとタイを対象として開始され、2001年にベトナムが、2010年にマレーシア、カザフスタン、バングラデシュ、フィリピンの4か国が、2012年にモンゴルが参加し、現在8か国(③のみの対象国トルコ、スリランカ、中国を加えると合計11か国)を対象として実施しています。①と③については、国内(東海村、敦賀市)で、②については相手国で実施しています。本実習は、①のコースの一環として昨年度から実施しているものです。

【実習場所】

福島県檜葉町内 農地 (福島県双葉郡檜葉町北田中満296-1)

【参考ルート】

常磐自動車道 (広野 I C)



県道 393 号



国道 6 号



木戸川橋北交差点右折



放射線サーベイ実習場所



独立行政法人日本原子力研究開発機構
福島研究開発部門 福島事業管理部総務課 行

別紙

(FAX 024-524-1069)

7/10(木) アジアからの原子力研修生による

「福島県における放射線サーベイ実習」

＜取材申込書＞

報道機関名／連絡先住所

御社名

(連絡先電話番号)

※天候の状況等により、やむをえず中止する場合があります。
その際はご連絡させていただきますので、必ず「取材申込書」に連絡先電話番号を
お書きください。

(フリガナ) お名前	所属／連絡先	備考

- (1) 7月8日(火)16時までにFAXにてお申し込み願います。
- (2) ご記載いただいた個人情報は今回の取材に関するものです。それ以外の目的での利用や第三者に対する開示をすることはありません。